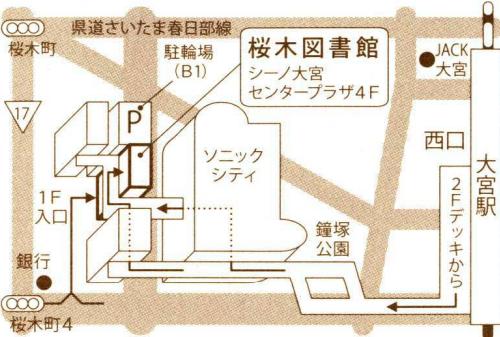


桜木図書館



正面入口。
エレベーターホールから
館内を見たところ。

桜木図書館は、「首都圏の北の玄関口」とも称されるJR大宮駅の西口から徒歩5分ほどのビル「シーノ大宮」センター・プラザ4階にあります。平成16年7月の開館以来、駅前という便利な立地にあるため、ショッピングのついでや、仕事の帰りに立ち寄る利用者も多く、日中の賑わいもさることながら、平日の夕方から夜8時の閉館間際まで、人が途切れることはほとんどありません。

平成16年7月の開館以来、駅前といふ便利な立地にあるため、ショッピングのついでや、仕事の帰りに立ち寄る利用者も多く、日中の賑わいもさることながら、平日の夕方から夜8時の閉館間際まで、人が途切れることはほとんどありません。

正面の書棚はビジネス関係書のコーナーとなっています。インターネット閲覧席では、商用データベースを利用することができます。DVD鑑賞席も数席あり、小さいながらも充実した施設となっています。

大宮駅西口にあ越しの際は、ぜひ立ち寄りください。



左手にカウンター、正面右手に記載台とビジネス関連のコーナー。

与野駅東口交差点にあつた大ケヤキが2010年5月に伐採され、芸術作品になりました。その後、制作に携わる彫刻家・本田貴侶先生が春先に体調を崩されて作業は一時中断しましたが、6月には復帰され、作業も再開されました。

取材に伺った8月末、作品は、内側が白く塗られて彫刻も明確になり、印象は大きく変わっていました。お話を伺うと、秋には完成するとのことで、作業はいよいよ大詰めを迎えていた様子でした。作品の完成が楽しみです。

伐採された大ケヤキは、苗木が各所に移植されたり、一部が与野駅改札前や近くの銀行に展示されています。新聞では、県立浦和西高校の卒業生である彫刻家がこの大ケヤキから作品を制作し、母校に展示されたことが取り上げられました。大ケヤキが、姿を変えたとはいえないでも地域のみなさんに愛されていることが感じられた取材でした。

3回に渡って大ケヤキの紹介をしてきました。これからも、地域に関する情報や資料の紹介を続けていこうと考えています。



作品を前に思案する本田先生。

大原の大ケヤキの作品完成へ

大原の大ケヤキの作品完成へ

編集：さいたま未来ぶらり通信編集委員会 発行：さいたま市図書館

<http://www.lib.city.saitama.jp/> 携帯電話用 <http://www.lib.city.saitama.jp/m/> (下のQRコードを読み込んでください)

北浦和図書館	832-2321	桜木図書館	649-5871	春野図書館	687-8301	与野南図書館	855-3735
南浦和図書館	862-8568	大宮西部図書館	664-4946	大宮東図書館	688-1434	岩槻図書館	757-2523
東浦和図書館	875-9977	三橋分館	625-4319	七里図書館	682-3248	岩槻駅東口図書館	758-3200
桜図書館	858-9090	北図書館	669-6111	片柳図書館	682-1222	岩槻東部図書館	756-6665
大久保東分館	853-7100	宮原図書館	662-5401	与野図書館	853-7816		
大宮図書館	643-3701	馬宮図書館	625-8831	西分館	854-8636		

事務局：中央図書館 浦和区東高砂町11-1 TEL 048-871-2100

★★編集後記★★ 東日本大震災後、地震関連や原発関連の書籍が多く発行されています。ぜひ図書館で正確な情報を入手して、日ごろの備えにお役立てください。

次回発行：2012年3月15日（年3回発行）

